

## 日本糖尿病教育・看護学会の皆様

国際交流委員会です。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界最初の症例から間もなく2年がたちます。皆様は日々の看護実践・教育・研究でお忙しいと思います。くれぐれもご自愛下さい。

### ★国際交流委員会の活動★

#### <JADEN 学術集会での活動>

国際交流委員会は、第26回JADEN学術集会において、「アジアの糖尿病医療・看護に関する現状調査報告」を行いました。第27回学術集会(2022年)では、「アジアの各国の食事文化と食事療法支援」についてシンポジウムを開催する予定です。

#### <国際学会へのアプライ>

国際交流委員会の委員は、2021年7月開催予定の**13th IDF-WPR Congress and 11th AASD Scientific Meeting**(於 上海)での発表に応募しましたが、6月30日に延期のお知らせが来ました。今後も国際学会の開催状況を注視し、アプライをしていきます。

COVID-19の影響で様々な学会ミーティングはバーチャル開催や、中止・延期になっています。一日でも早く新型コロナウイルスが終息することを願っています。

### ★国際関連情報★

#### <世界糖尿病デーのテーマ>

2021-2023年世界糖尿病デーのテーマ:**Access to Diabetes Care**

テーマ : <https://worlddiabetesday.org/about/theme/>

関連ポスター: <https://worlddiabetesday.org/resources/wdd-2021/posters/>

#### <AADE と機関誌の名称変更>

2020年1月に、『**American Association of Diabetes Educators (AADE)**』が『**Association of Diabetes Care & Education Specialists(ADCES)**』に名称変更しました。これに伴い、機関誌 *Diabetes Educator* も2021年2月より『*The Science of Diabetes Self-management and Care* (略称 *Sci Diabetes Self Manag Care*)』に変更されました

### ★中医学トピック★ ~劉彦委員からの情報提供~

#### <中医学(日本では東洋医学と呼ぶ)における糖尿病治療法>

中国では、糖尿病の治療・看護は西洋医学だけではなく、中医学も活用されています。

中医学における糖尿病治療では、弁証論治(弁証に基づいて治療すること)及び独特な中薬(日本でいう漢方薬のこと)を用いて治療することが殆どです。また、中医の独特な治療手法である鍼灸・物理療法・置き鍼・気功なども糖尿病の治療に用いられています。唐ら(2021)は、近年、耐糖能異常(IGT)の患者への中西医学の治療に関する研究が多いと述べています。

中医学の考え方に基づく糖尿病治療・看護の発展も期待されています。

唐程, 朴春麗, 王麗他(2021), 糖尿病前期中西医治療進展. 吉林中医薬, 416~420.